

秋田市教育委員会  
会 議 録

平成29年8月定例会

秋田市教育委員会平成29年8月定例会会議録

- 1 日 時 平成29年8月24日(木)  
午後3時30分～午後4時20分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
総務課長  
学事課長  
教職員室長  
教育研究所長  
生涯学習室長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
総務課副参事  
学事課長補佐  
学校教育課長補佐  
総務課主席主査  
学事課主席主査  
教育研究所主席主査  
総務課主査  
総務課主査

## 5 議 題

### 【協議事項】

- (1) 平成29年度8月補正予算（案）に関する件
- (2) 平成29年度9月補正予算（案）に関する件

### 【教育長等の報告】

- (1) 教育委員会事務の点検・評価報告書（案）について
- (2) 「小・中学校の適正配置に関する市民説明会」の実施状況について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【平成29年7月定例会会議録の承認】

平成29年7月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【協議事項】

#### 【非公開の議決】

教育長 協議事項(1) 平成29年度8月補正予算（案）に関する件及び(2) 平成29年度9月補正予算（案）に関する件については、今後議会に提出され、審議される案件と聞いている。よって、現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがある。

以上のことから、これら2件については秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うかどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

## 【教育長等の報告】

### (1) 教育委員会事務の点検・評価報告書（案）について

教育長 事務局から説明をお願いします。

総務課長 7月定例会で、委員の方々に示した素案に対する意見や質問について、事務局としての対応案をまとめるとともに、その検討結果をふまえた最終案を作成し、委員の皆様にも事前に確認してもらっている。

なお、前回定例会において、前教育ビジョンの総括を今回の点検・評価に加える旨を説明したが、昨年度策定した新たな教育ビジョンでは、第3章に「本市教育の現状と課題」を新たに設け、前ビジョンの取組の成果等を詳細に整理していることから、点検・評価には掲載しないこととした。この後、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、学識経験者の知見を活用するため、学識経験者2名の意見を加えて来月の定例会に議案として提出したいと考えている。

完成した報告書は、市議会9月定例会に提出するとともに教育委員会ホームページに掲載・公表する予定である。

### (2) 『小・中学校の適正配置に関する市民説明会』の実施状況について

教育長 事務局から説明をお願いします。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 説明会への参加人数は合計213人ということだが、想定していた人数と比べて多いのか。

学事課長 各会場に席を100名分準備していたが、参加者は50名前後であった。想定していた人数よりも少なかった。

委員 夏休み中の開催も多かった。時期をずらして再度開催することは考えていないのか。

学事課長 現時点では、同様の説明会を開催することは考えていないが、更なる周知が必要だという認識は持っている。今後、

今回の説明会に参加出来なかった方々にも説明会での資料内容を理解してもらう工夫を考えていきたい。

教育長 参加者が少なかったのは、参加出来なかったというよりも会場に足を運ぶまで、モチベーションが高まっていなかったのではないか。参加しなかった人たちにも情報が伝わる工夫を考えていかななくてはならない。

委員 各学校で開催されるPTAの際に保護者に情報提供することはできないのか。

学事課長 説明会でもPTAで保護者等で情報を伝えてはどうかという意見が出たが、学校数も多いため、全ての学校を回るのは難しい。ホームページ等で周知を図っていきたい。

委員 仮にPTAで説明しても、現在通っている子どもたちは2040年には小、中学校を卒業している。難しい問題だと思う。

学事課長 保護者予備軍である世代に対してもきちんと情報が伝わる手法を検討中である。

委員 適正配置については、市民に丁寧に説明することが大切だ。自分の住んでいる地域の名前が出てくると実感が湧き、いろいろな意見が出てくる可能性がある。説明を尽くして適正配置を進めてほしいということが、地域のみなさんの本音だと思う。今後とも適正配置を進めていく上で、丁寧な説明をお願いします。

学事課長 今回の説明会の内容は、地域に特化した話ではなく全市的な話である。来年度に出す素案では、市内の各ブロックごとに小、中学校が何校になるという具体的な話になってくる。その際は、地域の話になってくるので、一層丁寧な説明が必要になると考えている。

教育長 資料では、説明会開催情報の入手方法のうち20%ほどがその他となっている。その他は、新聞記事などを見て説明会に参加したのだろうか。

学事課長 適正配置説明会に関し、秋田魁新聞に秋田市が適正配置

を検討している件や第1回説明会が開催された件、コラムなど計3回ほど掲載されている。新聞以外では地域団体からの連絡があったのだろう。

教育長 今年度の説明会では、子どもたちの数が減っていく中で学校の小規模化が進んでいくことやそれをみんな考えていく必要があることを出来るだけ多くの市民に伝えなかった。参加者が想定よりも少なかったため、伝えたい部分をみんなに共通理解してもらうための工夫をお願いする。

委員 学校の適正配置は現在の状況だけでなく、将来の事も考えていく必要があるため、考える時間の単位が長い。秋田県は全国で一番高齢化、少子化が進んでいる。具体的には想像できないが、高齢者の割合が増え、子どもの割合が減っていくなかで学区内のコミュニティも変わっていくだろう。適正配置は、今のイメージ、今の保護者がどう考えるかに限定して考えるのではなく、今の枠組みにこだわらない発想で考えていくことが必要だ。

総務課長 社会構造、住民の構成が大きく変わり、おそらくコミュニティの在り方も変わっていく。私たちが目標にしている2040年には想像以上に変わっている可能性がある。適正配置は、そういった状況下でもよりよい教育環境の確保を念頭に置きながら、考えていく必要がある大きな課題である。今までにこだわることなく、様々な角度から検討する必要がある。

教育長 保護者と、学校に対する郷愁を持つ高齢の方が話をしてもすぐにまとまらないだろう。進藤委員が話したようにコミュニティの在り方が変わってくる。そういったことを踏まえて十分に協議することが大切だ。

委員 今回は初めての説明会ということで参加者が想定より少なかった。学校の統廃合が必要であることは、分かっているため、わざわざ説明会に参加する必要性を感じなかったのかもしれない。最初の説明会では市民に対してきちんと

説明するという観点から教育委員会として働きかけが必要だったが、学区ごとの具体的な案が出来た場合、参加者は大きく増えると思う。

学事課長 来年の素案の公表と再来年度の案の公表では、個別の地域の話になる。自分の事として関心を持つ市民の数は、増えるだろう。それだけに丁寧な説明が必要だと考えている。

委員 具体的な案が出た後に適正配置に関心を持った人たちにも前からきちんと説明してきたことを示せるように教育委員会から働きかけ、周知を進めていくことが必要だ。

#### 【その他、委員から】

委員 今日の新聞に「学校事務の代行補助員を配置する」という記事が載っていた。具体的なことについて秋田市の教育委員会に連絡はあったのか。

教育次長 学校事務の代行要員の配置についての連絡はまだない。新聞記事では、プリントの印刷や会議の準備等を代行するということだが、秋田市では市から派遣される女性の技能主事がプリントの印刷や会議の準備もしてくれている。

教育長 今は文部科学省が予算要求をするという意思表示をした段階だ。新聞報道では、県費職員として全国に3,600人ほど配置され、印刷や会議の準備をするとのことだ。文部科学省からの具体的な連絡がなければ詳細が分からない部分もある。

#### 【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会定例会は、原則毎月第4木曜日としているが、9月定例会は、9月市議会の関係で現在日程を調整中である。日程が決定次第お知らせする。

教育長 日程が決定次第連絡をお願いする。委員の皆様、よろし

くお願いする。

**【協議事項】**

- (1) 平成29年度8月補正予算（案）に関する件
- (2) 平成29年度9月補正予算（案）に関する件

(協議事項(1)および(2)は、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議録に記載しない。)

午後4時20分閉会

以 上